



楓の森アップデート3



合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第20号
令和8年2月25日(水)
文責:校長 佐藤 政臣

○校訓「志高く 道を拓く」

○学校教育目標「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

熊本県学力・学習状況調査の結果 ～今年度もすべての学年で全国標準スコア(50)を上回りました～

12月初旬に3年生から6年生で実施した「熊本県学力・学習状況調査」の個人票を 26日(木)に配布いたしますのでご覧になられてください。

学校全体の学力としては、全国の標準スコア(50)と比較すると、すべての学年が50以上で、国語、算数ともに全国標準値を上回り、学習したことが成果としてあらわれました。また、合志市及び熊本県の平均値と比較すると、以下のようにすべての学年で標準スコアを大きく上回ることができました。

学年	合志市、熊本県の標準スコアとの比較
3年	○国語は、合志市より+3.6、熊本県より+4.1ポイント、標準スコアを上回った。 ○算数も、合志市より+3.8、熊本県より+4.8ポイント、標準スコアを上回った。
4年	○国語は、合志市より+2.4、熊本県より+2.6ポイント、標準スコアを上回った。 ○算数も、合志市より+2.6、熊本県より+2.4ポイント、標準スコアを上回った。
5年	○国語は、合志市より+2.0、熊本県より+0.9ポイント、標準スコアを上回った。 ○算数も、合志市より+2.3、熊本県より+0.4ポイント、標準スコアを上回った。
6年	○国語は、合志市より+1.3、熊本県より+1.7ポイント、標準スコアを上回った。 ○算数も、合志市より+2.5、熊本県より+2.5ポイント、標準スコアを上回った。

また、一緒に行われた i-check では、「**自分にはいいところがあると思いますか**」という自己肯定感に関する項目の肯定率が、「**3年90.6%(全国81.7%)、4年95.3%(全国82.9%)、5年88.0%(全国72.2%)、6年84.0%(全国71.1%)**」という結果となり、全国値を大きく上回りました。この自己肯定感の向上は、その点に着目して取り組んできた健康教育の成果であると言えます。詳細につきましては、個人票とともに配布しました「熊本県学力・学習状況調査結果の返却について」をご覧ください。

2月の人権月間の取組から

現在、人権月間により、各学級で人権学習（特にハンセン病問題学習）が行われています。本校では、「“KAEDE” S PRIDE PROJECT」（合志楓の森小・中学校ハンセン病問題学習）」として、合志楓の森小・中学校での9ヶ年で、地域のこと（特に菊池恵楓園やハンセン病問題）を知る探究的な活動を通して、ハンセン病問題について正しい認識をもつとともに、自分の故郷を大切に思い、誇りとすることを目標に学習に取り組んでいます。その中で、3年生は、先日の授業参観で「ハンセン病問題」に関する学習を行いました。



教材「すごろくトーク」を通して、ハンセン病問題について学び、自分達にできることは何かを考えました。

以下に授業後の児童の感想と参観した保護者の感想を紹介します。

【授業後の感想】

入所者のみなさんへ 3年 山内しゅんた
ぼくたちの楓の森小学校では、ハンセン病について、正しいちしきを勉強しています。
ぼくたちは、ハンセン病は、今の日本のかんきょうでは、「うつらない病気」。とっこう薬があって、「なおる病気」。そして、うつらないでなおせるなら「みんなといっしょに生活できる」ことを知っています。だから、正しく学んでいる楓の森小学校の子どもは、ハンセン病へのさべつをしません。みんなからさべつやへん見をされて、かなしかったと思います。でも、ぼくたちは、正しい知しきを広めて、ハンセン病へのさべつをなくしていきます。

【参観した保護者の感想】

授業参観ありがとうございました。皆の前で自分の言葉で伝えるというのは緊張もしますし、難しさもあると思います。発表する娘の姿を見て感動しました。その日の宿題の感想もすらすら書く姿を見て、自分で感じたことや学んだことがしっかりと心の中に刻まれているんだと強く感じました。すごいなと思いました。今回の学習でまだまだ知らないことも多く、娘や皆さんに教わることができました。人権学習はとても大切な学びだと思います。先生方には、丁寧に教えて頂き感謝しております。我が家は、恵楓園がすぐ近くにありますが、沢山の皆さまがここで辛い思いをされていたこと、未だに差別や偏見があることを決して忘れず正しい知識をより深めていきたいと思っています。大切な時間をありがとうございました。